



鈴木貴晶
自由クラブ

学校生活における
環境の改善について

問 特別支援児童生徒を加えた上での、市独自の35人以下学級及び小学校低学年30人以下学級の実現について教育委員会の考えを伺う。

答 現在全ての学年で35人以下学級対応をしており、小学校は約80%、中学校は約75%の学級が30人以下の状態となっている。

教員確保が難しい現状を鑑み、低学年学級支援員や特別支援教育補助員の増員で対応をしていきたい。

問 保護者との「連絡アプリ」の市内一斉導入について教育委員会の考えを伺う。

答 学校に必要な機能や運用方法、予算も含めた取捨選択をしたうえで、令和6年度の導入に向けて引き続き検

討を進めている。

助成金・補助金・
給付金などの情報発信

問 情報を一元化し市ホームページに掲載してはどうか。

答 現在、市や国、各種団体が取り扱う助成金等の情報は、市ホームページや広報がまごおり、案内チラシなどを通じ、それぞれの所管する担当課で周知をしている。市民に助成金等を広く知ってもらい幅広く活用してもらうため、専用ページを設け、一覧表にまとめた形で周知をすることで、分かりやすい情報発信に取り組んでいきたい。



令和4年度 一般会計決算などを議決



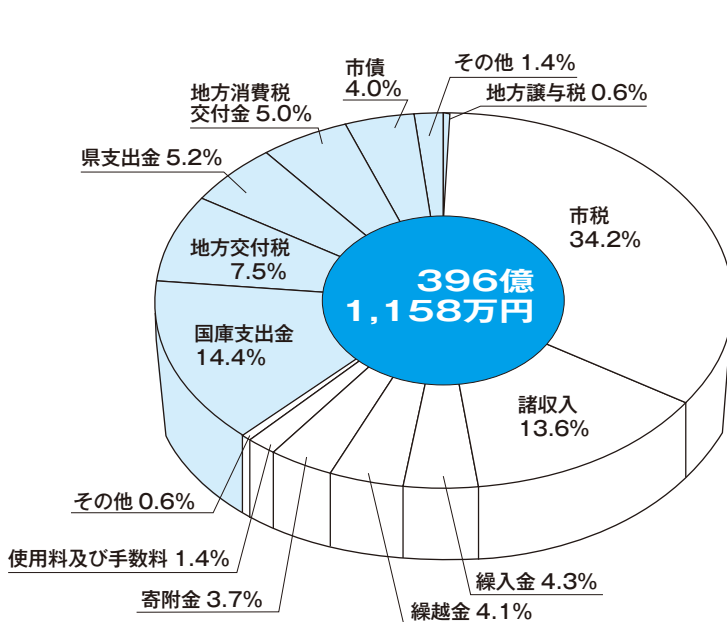
9月市議会定例会は、9月7日から9月28日までの22日間の会期で開き、議案25件、意見書案3件を審議しました。
令和4年度決算の認定など、主な内容をお知らせします。

■歳入歳出

歳入 一般会計

依存財源 38.1%

自主財源 61.9%



歳出 一般会計

